

# 東奥日報

2017年(平成29年)6月7日 水曜日 (16)

## 八工大 研究成果地域に公開 展示スペース学内開設

八戸

八戸工業大学(長谷川明

学長)の工学部電気電子システム学科は、電気に関する研究成果を紹介する展



八戸工業大学内にオープンした「e-ナビ・スクエア」

示スペース「e-ナビ・スクエア」を同大学内にオープンした。市民や進路選択を控えた高校生に研究室の活動を紹介したり、地元企業と情報を共有して産学連携事業創出につなげたりと、同学科の学生や教員が地域と交流する場として活用する。

開設場所は同大学電気電子システム専門棟1階。電気エネルギー、未来エネルギー、情報制御など九つのゾーンに分かれ、研究内容を解説するポスターや、エネルギー効率化の実験に使う電気自動車などを展示する。電子レンジ内で鉛筆の芯から火の玉を作る実験などの様子も見学できる。

2日の開所式で、同学科長の関秀廣教授が展示の概要を同大学関係者に説明。同学科の学生らが展示内容の解説や実験を担当し

た。関教授は「地域の企業と連携して課題を解決し、研究者同士が情報共有して別の研究につなげるなどのきっかけづくりの場にした。学生が一般の方に研究を説明し、やりがいを感じることで、学ぶ意欲を高められるはず」と語った。

e-ナビ・スクエア見学には事前連絡が必要。問い合わせは同学科事務室(電話0178-258020)へ。  
(新村菜穂)

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」